

第 17 回 新しい資本主義実現会議への意見

日本商工会議所
会頭 小林 健

科学技術・イノベーションの推進

- 企業は、不可逆的に進展する生成 AI をはじめとするイノベーションに、Adapt（適応）することが不可欠
- 急速に進む AI の開発・利活用についての国際的なルールづくりに主体的に参画すべき
- 起業家・経営者による新事業創出や、業態変革を後押しする政策を、総合的にデザインすべき
 - 事業成長担保権の創出や、知的資産を信用材料とした公的融資制度など、旧来の経営者保証や、不動産等の有形資産への担保に頼らない資金調達手法の確立
 - イノベーション・ボックス税制の創設（知財収益に対する法人税軽減の優遇措置）による知財投資に対する企業インセンティブ付与など

参入・退出の円滑化

- 商工会議所の大きな使命は、地域の商工業の経営支援であり、事業者の安定的な成長・継続に資することが基本。参入・退出も経営支援の一環。
- 地域コミュニティや、生活インフラを支える事業者の支援は社会政策的にも重要であり、自立的な経営や、事業再生の後押しが必要。また、地域経済を支える中小企業にとり、経営若返りにつながる親族内承継等に対する政策的支援が重要
- 事業承継税制の特例措置の延長・恒久化を
- 退出は、経営者が「自らの意思」で決断するもの。退出支援策はあまり知られていないため、更なる環境整備の強化とともに、まずは制度周知を図るべき。商工会議所も経営支援の一環として協力する
- 経営者の選択肢を広げるため、早期相談が重要。経営状況診断の仕組みを整備するなど、専門家や金融機関などの協力のもとでの相談体制強化とインセンティブを

以 上